

<平成26年2月 予算特別委員会議事録より>

◆委員（山本みちよ君）

平和事業なんですけど、これ、すみません、予算書には載っていませんが、前回の一般質問で、私のほうで取り上げさせていただいたということで、1点お伺いいたします。

平和首長会議、これは一般質問でもお話ししたように、核兵器廃絶に向けて、首長としての国際的な会議ということで、この加盟について、市長より、前回前向きな答弁をいただいたと思いますが、その後の経過についてお伺いいたします。

◎総務課長（中野彰君）

平和首長会議への参加につきましては、本市としましては、平和都市宣言をさせていただきまして、独自の平和事業を進めてございますので、今のところ、入るといようなお返事はさせていただいておりません。なお、首長会議の負担金につきましては、今のところ無料でございますが、27年度から有料になるというような通知が来ております。

◆委員（山本みちよ君）

平和首長会議、全く考えていないということの御答弁でありましたが、そういう意見もあるので、前向きに検討するというので、少しは考えていただけているのかなというふうに考えていたわけですが、実際、これ、年間2,000円の加盟料等が発生してくるものであります。

しかしながら、本当に今、2月1日現在で加盟都市数が158カ国・地域、また5,895都市が加盟をしております。ここはあくまでも、核兵器廃絶に向けて、心を合わせて運動していくという、そういう加盟の意義がありますので、そこに含めて、もう一度御答弁をお願いいたします。

◎総合政策部長（佐橋恭子君）

平和首長会議への加盟ということですが、先ほど、総務課長、御答弁いたしましたように、我が市は平和都市宣言を既にしております。それから、市長のスタンスも平和に向けた、それを希求する気持ちということは一歩も引けをとらないというか、変わらないものということで、市をトップリーダーとして引っ張っていただいているという認識を持っております。

ですので、この首長会議に加盟するというより、そういう実態で引っ張っていくという考え方で進めていきたいということで、ぜひ御理解をいただきたいと思います。

◆委員（山本みちよ君）

平和事業の、この加盟につきましてですけれども、特に、特別何かをするというものでもないかもわかりませんが、一つ、ここで世界的なしっかりとした組織の中に加盟をして、立川市が入っていくということは大変意義があると思います。そうした意味で、ぜひとも、ここを進めていただきたいと思いますけれども、市長から、また一言お願いできればと思います。

◎市長（清水庄平君）

流れとしましては、課長や部長が答弁をしたとおりでございます。本市がいち早く平和都市宣言をする中で、さまざまな事業も展開をしてまいりました。今、とりたてて、この平和首長会議でしょうか、入会をしていく必要はないというふうに考えております。